

伊藤漢仙先生選評



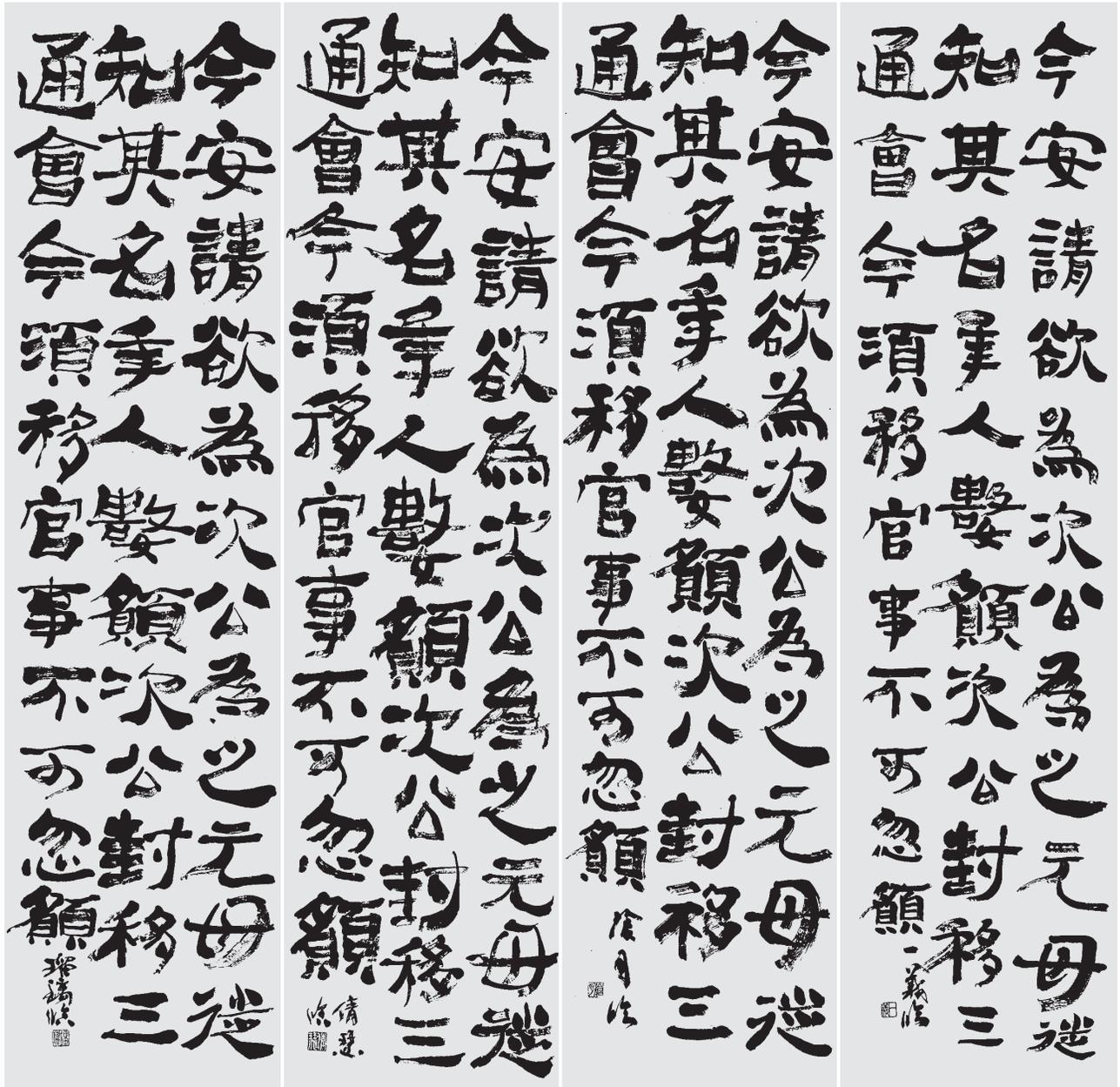
平岡 幽琴 推選
 参考作品をよく見て書作しています。どつしりとした落ち着きがあり、透明感のある格調の高い作品です。墨色も紙面にマッチしていて快作です。

森川 雨琴 推選
 運腕大きく、おらかな伸びやかさのある逸品です。潤渇の変化も自然で、全体を通しての一貫性は素晴らしいの一言に尽きます。この調子で頑張ってください。

中基 推選
 全体を見てゆつたりとした雰囲気を出して、墨色も心地よい。温かみのある用筆は風致があり、心がほっとする空間ですね。落款も調和しています。

岩崎 玉楊 推選
 一見して極端に太細の変化をつけていますが、よく見ると章法が上手くバランスがとれています。作者独特のリズム感に趣があり見事です。

葛西玄涛先生選評



石田一義 推選
 行間と字間の余白が適切であり美しい。文字をいっばい詰め込んだ感の作品が多い中、余白の美を求め、ゆったりとした運筆で、静かな空気を表現している。

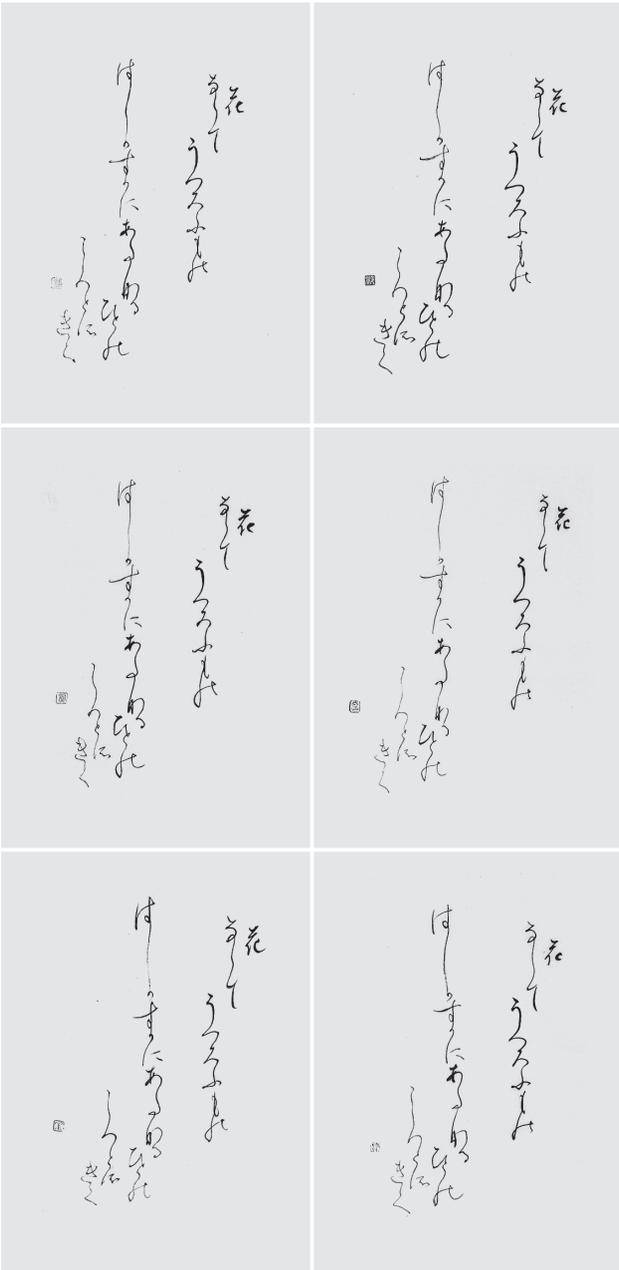
佐々木滄月 推選
 それぞれの文字の表情に変化があり楽しい。余裕を感じる柔軟な曲線と、清く爽やかな直線が、適度に混合して完成度が高い。太線部分の弾力は高い水準です。

重光倩瑟 推選
 筆が紙から離れるときを速く高くして、変化に富んだ線をたくさん生み出した。渴筆部分も同様にして、変化を出しても、表現過多になっていないところが佳い。

安田瑠璃 推選
 多墨の部分は、紙に墨が入り込むのをじっと見守ったように沈着で、どっしりとしている。木簡の軽さの部分は細線で速く書き、軽重の変化を大きくしている。

吉澤真理先生選・千葉和子先生評

佐賀道子先生選評



若松浩子 準師
文字の造形の捉えが正確でしかも原帖の弾力が見える書きぶりが見事。渴筆部分の表現も変化があり、少し硬いが鑑賞に値する。雅印位置？

半田都志 師範
前半は鋒の開閉が美しく立体感がある。後半二行の単調さが惜しまれるが、ゆったりした筆運びとおおらかな捉え方がその実力を示している。

寺田翠鷗 八段
慎重な筆運びで紙面構成がゆるぎない。かすれの表現も美しいが、筆に墨が少なくなってきた時の筆の扱いに少し迷いが見えるのが今後の課題。

村上喜代子 師範
運筆がなめらかで美しい。文字の大小の捉え方も良いが、後半細い線が目立ち、ダイナミックな原帖の雰囲気失われて残念である。

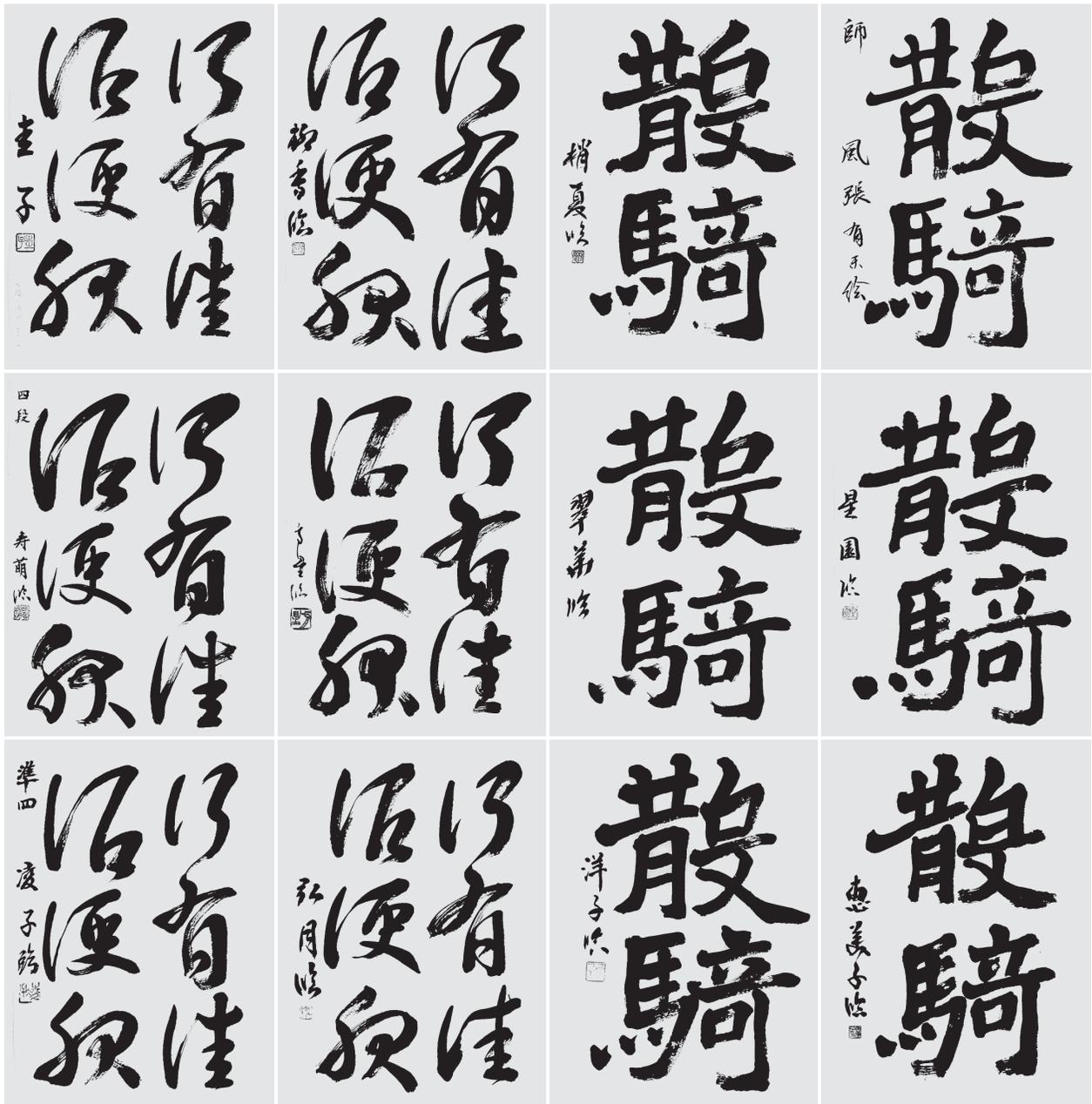
玉水美智子 七段
丹念に個々を見る力があつて、原帖に迫る筆致で書ききつていて見応えのある一枚。紙面いっぱいのおおらかさにしては筆が少し小さいか？

藤田以津子 師範
終始一貫した丁寧な学書ぶりが窺える安定作。が、渴筆の書きようは単調。原帖のドラマ性を大胆な浮沈をつけて表現してほしかった。

霜鳥卯水 推選
冴えのある伸びやかな筆致が爽やかな空気を作り出しています。やや筆が速いかもありません。速度の工夫で更に厚みのある多彩な表情になるでしょう。

久世晃子 推選
意図した構成で、運腕大きく気脈の一貫したリズムから「ときめき」が伝わってくる魅力作。文字の大小・浮沈の変化も見事です。「乃・花」が並び惜しい。

福田鷺峰先生選評



風張有未 師範
しつとりと柔らかな線で楽々と筆を進める。軽やかに明るく捉えようとする姿勢に敬服。この学び方が将来血や肉となり作品に表れると思う。

及川梢夏 八段
わずかにある渴筆が明るさを増す。原帖にできるだけ忠実に書こうとしており、形臨として成功している。やはり原帖をよく見ることは大切だ。

渡部柳香 師範
淀みなく流れており気脈が一本通っていて気持ちが良い。最後の文字の回転部に難あり。筆を楽にして連筆するのがコツ。爽やかな書である。

清水圭子 七段
墨量不足気味ではあるが軽やかな動きが心地いい。大いなる長所といえる。紙のせいか線のくい込みは今一落款の為に文字が右に逃げないよう。

田中星園 師範
ゆつたりと豊かな書きぶりである。この作品には余裕すら感じる。形臨としても雰囲気を出していても味わい深いものを出している。美しい臨書。

廿日出翠華 八段
スルスルと伸びやかに進む筆。気持ちのいい書きぶりだ。かわいらしさのある表情が見えて明るくまとまっている。落款は工夫欲しいね。

兜山方星 師範
原帖とは幾分違う雰囲気であるが渴筆の美しさが感じられる。硬めの筆なのか終筆の部分に荒さが出ている箇所あり。丁寧に押印気をつけたい。

岸本寿萌 四段
文字の大小に気配りながら筆を進める。強弱の変化をつけるのが上手い。気脈が貫通しており淀みがない。落款が少し小さすぎるのでは？

古橋恵美子 準師
柔らかい線の中にもキリッとしたバネのような強さを持つているのがわかる。この力強さと明るい空間がより上等なレベルへと引き上げている。

関井洋子 準六
その構えの大きさと、そして伸びやかさ、柔らかさの中にも力強さを備えている。深さを出す為にリズムの工夫をしてみても如何？押印は丁寧に。

鳥居弘月 準師
軽快なリズムに乗って書かれており、いい呼吸で乱れない。よく練習した感がある。墨量もちょうど良く渴筆も美しい。落款も落ち着き成功。

山本凌子 準四
ためらいのない素直な書きぶり。線の沈みが深くよく学んだ跡が窺える。このままの勉強方法で進んでいただきたいもの。今後の発展が楽しみ。